創新32号　2017年（平成29年）5月発行

創新

会報第32号

元・江田島市議会議員

胡 子 まさのぶ

ごあいさつ

平成29年度予算も議会で可決され、新しい年度がスタートしました。

昨年は『**あきらめない、未来への挑戦**』として、私の江田島市に対する思いを市民の皆さまに伝えさせていただきました。

多くの方々からご支援いただきましたこと、そして、今も変わらず温かいお声かけをいただきますことに感謝申し上げます。

私の『江田島市に対する思い』は今も変わらず、これからも皆さまとともに『**恵み多き島、えたじま**』の発展に向けて活動してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

市議選の日程決まる

今年10月末の任期満了に伴う市議選の日程が決まりました。

定員は前回と変わらず18名。昨年までの議会報告会等で市民の皆さまから『議員定数』についてご意見をいただきました。残念ながら私が議員在職中に議会で正式に議論されたことはありません。現状維持にしても議員間での議論は必要であったと思います。

江田島市議会は50代以上の議員で構成されており、都市部のような20代、30代、40代、そして女性の議員はいません。17名の議員のうち、65歳以上が約65％（11名）を占めます。

議会は市の最高議決機関であり、市長の予算執行権は議会の議決がない限り行使できません。

つまり、議会が市民のニーズを把握し、**チェック機能を果たすことで市政も変わる**ということです。

このたびの改選で幅広い世代や女性が立候補し、島の未来を市民と一緒に考える機会になることを願っています。

江田島市選管は2日、任期満了に伴う市議選（定数18）の日程を9月24日告示、10月1日投開票と決めた。

立候補予定者説明会は8月下旬、市役所で開く。3月1日現在の選挙人名簿登録者数は2万1418人。

平成29年度予算

2月定例会で平成29年度予算が可決されました。

江田島市にとって、最も重視すべき課題である「人口減少」の改善を図り、住む人も、訪れる人も「**『ワクワクできる島』えたじま**」づくりに向けた3つの挑戦として、「しごとの創出」「子育てしやすい環境づくり」「健康寿命の延伸」を重点テーマとして予算に盛り込まれています。私たち市民は市政に協力するとともに、成果が上がる施策かどうかをチェックしましょう。

広報えたじま4月号に特集が組まれています。

会計別予算

	会計名	平成29年度	平成28年度	比較
	一般会計	158億5,000万円	157億5,000万円	0.6%
特別会計	国民健康保険特別会計	46億5,000万円	46億2,200万円	0.6%
	後期高齢者医療特別会計	4億4,300万円	4億6,200万円	△4.1%
	介護保険(保険事業勘定)特別会計	36億5,900万円	36億5,600万円	0.1%
	介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	1,150万円	1,180万円	△2.5%
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,100万円	2,200万円	△4.5%
	循環管理特別会計	4,400万円	4,400万円	0.0%
	地域開発事業特別会計	9,800万円	1億5,300万円	△35.9%
	宿泊施設事業特別会計	6,200万円	6,000万円	3.3%
	交通船事業特別会計	300万円	2,600万円	△88.5%
	計	89億9,150万円	90億5,680万円	△0.7%
企業会計	水道事業会計	14億3,457万円	11億7,747万円	21.8%
	下水道事業会計	19億8,868万円	19億3,778万円	2.6%
	計	34億2,325万円	31億1,525万円	9.9%
	※企業会計の予算額については、収益的支出と資本的支出の計			
	全会計（計）	282億6,475万円	279億2,205万円	1.2%

汚染土処理施設のゆくえ

江田島市沖美町に建設中の汚染土処理施設について『**汚染土えたじま持ち込み反対協議会**』が3月26日から1万人を目標に署名活動を始めました。

4月26日現在で3万2千人を超え、江田島市民も1万人に達しました。（市民の約42％）

議会へ説明

4月24日午前10時から鹿川漁業協同組合・会議室で汚染土えたじま持込み反対協議会から江田島市議会に対してこれまでの活動および経過報告がありました。

関係者および出席議員にお聞きすると、11名の議員の内、**11名の議員が出席**しました。

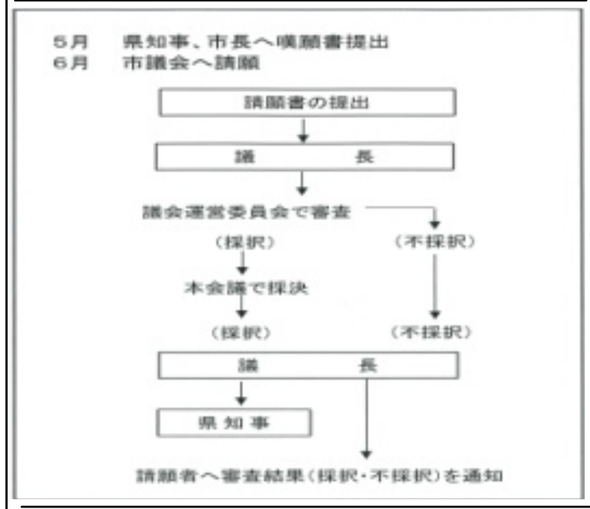
江田島市役所からは担当部長・課長が傍聴されました。あくまでも状況把握であり、市役所として、現時点でニュートラル（中立）であることに私は賛成です。説明会の内容については適宜、市長へ報告されていると推察します。

尚、5月1日発行の広報えたじまに、①汚染土処理施設の設置許可に関する広島県への手続きの流れ、②昨年末から発生した反対運動の動きを客観的（事実）にまとめた冊子（A3判用紙1枚）を折り込む予定と聞いています。市民の皆さまの判断材料としては適切なものであると思っています。

今後の流れとして、協議会は5月中旬までに県知事及び市長へ嘆願書を提出し、議会へは6月定例会に向けて『**県知事へ許可反対の意見書の提出を求める請願**』を提出すると聞いています。

市議会の意見書は住民代表（議員）で組織する江田島市の最高議決機関の意思表示として重みがあります。

議長が請願を受理するか、また、議会が採択するかがポイントです。



胡子雅信後援会

2名様から座談会を開催します。お気軽にご連絡下さい。

住 所：〒737-2213　江田島市大柿町大原5563-4
電話&ﾌｧｯｸｽ：0823-57-2184
E-MAIL： mebisu924@gmail.com
ブログ： http://mebisu924.cocolog-nifty.com/etajima/

創新32号　2017年（平成29年）5月発行

あきらめない、未来への挑戦！
～議会改革のゆくえ（1）～

議員定数について

江田島市議会の『議会改革元年』は議会基本条例が施行された平成26年です。

条例の大きな柱は『**開かれた議会**』です。これまで3回の議会報告会が行われ、市民の皆さまからの貴重なご意見をいただいています。

今回は更なる改革を推進するにあたって2項目を取り上げます。

毎年の議会報告会で市民の皆さまからご意見をいただきましたが、議会で正式な議論はなされていません。

議会基本条例では議員定数について次のことが明記されています。

①行財政改革の視点だけではなく、社会経済情勢、市政の現状と課題、将来の予測と展望を十分に考慮する。

②議員活動の評価等に関して市民の意見を聴取するため、公聴会制度及び参考人制度を十分に活用すること。

改選を10月に控え、定数等について結論を導き出す時間はありませんが、次期議会では議員間でしっかり議論することが求められます。

H29.4現在

	人口	面積	議員定数	議員報酬
江田島市	24,124	100.7	18	32.5
竹原市	26,548	118.3	14	35.5
庄原市	36,608	1,246.6	20	32.5
大竹市	27,616	78.5	16	37.0
安芸高田市	29,500	538.2	18	32.5

委員会付託について

江田島市議会会議規則第37条で議案の「委員会付託」が明記されていますが当初予算及び決算認定についての議案以外はすべて省略されています。

そのため議案に対する質疑は、原則として同一議題につき、同一議員について3回を超えることができず、議論を深めることも、議員間の討議や論点整理もなく、質疑・討論・採決に至ります。

地方自治法第96条に定められている議会の議決事項は市の将来を左右するものであり、議員間で慎重に審議し、討議をかさねて最終決断をすべきです。

委員会では質問側（議員）が何度でも納得いくまで質疑することができ、特定の案件についての集中審議ができます。

重要議案（補正予算案も含む）については所管の委員会に付託し、十分な審議ができる「委員会付託方式」を採用し、その運用方法は議会運営委員会で議論することが今後の課題として残ります。

（参考）委員会付託について

	市	委員会付託	予算	補正予算	決算
1	広島市	○	特別	分割	特別
2	呉市	○	特別	特別	特別
3	竹原市	×	特別		特別
4	三原市	○	特別		特別
5	尾道市	○	特別		特別
6	福山市	○	特別	特別	特別
7	府中市	○	特別		特別
8	三次市	○	常任		
9	庄原市	○	特別		特別
10	大竹市	○	特別		特別
11	東広島市	○	特別		特別
12	廿日市市	○	特別		特別
13	安芸高田市	○	常任		
14	江田島市	×	特別	―	特別

参考までに平成26年4月に調べたところ、広島県内14市の市議会で、**江田島市と竹原市以外は全て委員会付託方式**で議案審議されています。さらに先進的なのは三次市と安芸高田市であり、予算及び決算を審議するのが常任委員会になっていることです。議会改革に全力を尽くしたい。

中町・高田～宇品航路、黒字へ

平成27年10月から指定管理者制度を利用した交通船事業ですが、指定管理者モニタリング評価シートが公開されました。

1年目は経常黒字が約3千4百万円という結果で**公設民営化に賛成**であった私としても安心しています。

左は平成17年からの収支状況です。市所有船3隻の無償貸与と減価償却費等は含まれていませんが公設民営化による改善は目を見張ります。

黒字化の理由は、**①人件費と②燃料費**に尽きます。

市が保有する高速船は建造されて20年～24年が経過しており、後継船建造が今後の大きな課題です。

少子高齢化・人口減少によって、このままでは乗降客の減少に拍車がかかり、航路採算も厳しくなることが予想されます。対岸の広島市民120万人の10%（12万人）が1年に1回でも船に乗って島に来ていただくよう『ワクワクできる、恵み多き島、えたじま』に磨きを掛けていくことが大切です。

中町／宇品航路　営業損益・経常損益の経緯

（単位：万円）

	市直営											公設民営
	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27（9年）	H27.10～H28.12
	H17.4～H18.3	H18.4～H19.3	H19.4～H20.3	H20.4～H21.3	H21.4～H22.3	H22.4～H23.3	H23.4～H24.2	H24.4～H25.3	H25.4～H26.3	H26.4～H27.3	H27.4～H27.9	
営業収益	60,672	59,736	58,282	55,856	48,487	42,331	39,102	39,193	37,542	34,501	17,142	34,394
営業費用	70,407	74,160	74,703	70,963	53,681	56,833	49,110	48,585	46,379	45,553	23,608	31,038
営業損益	▲9,735	▲14,424	▲15,421	▲15,087	▲5,194	▲8,502	▲10,008	▲9,392	▲8,837	▲11,052	▲6,466	3,356
営業外収入	587	868	18,197	18,145	266	1,118	4,586	531	5,322	18,250	2,349	118
営業外費用	858	682	1,002	878	318	320	454	240	445	1,089	3	0
経常損益	▲10,006	▲14,348	▲6,227	▲5,748	▲5,236	▲7,704	▲5,956	▲9,101	▲3,960	▲1,891	▲4,120	3,474

営業外収入のうち、補助金等

他会計補助金	0	0	18,000	9,000	0	659	4,261	188	5,065	7,654	36	
他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,794	
長期前受金戻入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,202	260	
補助金等の合計	0	0	18,000	9,000	0	659	4,261	188	5,065	9,856	2,090	
累計金額	0	0	18,000	19,000	19,000	19,659	23,920	24,028	29,064	38,950	41,040	

日本語クラブ（教室）開講

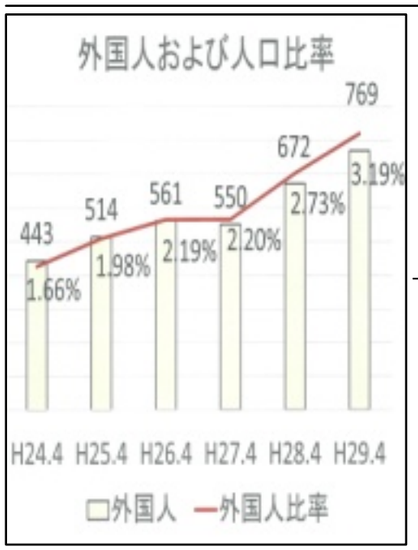
昨年、文化庁の日本語教育事業（地域日本語教育スタートアッププログラム）に採択され、3年間で教室の立ち上げが目標になっています。

この4月から日本語クラブ（教室）がゆめタウンで月2回開催されることになりました。

江田島市では外国市民がこの10年で飛躍的に増えています。

今年4月1日時点で769人、人口の3.1%であり、ほとんどが技能実習生です。地域別では江田島町2.4%、能美町3.5%、沖美町8.3%、大柿町1.4%であり、**沖美町は100人に8人が外国人**です。

参考までに広島市1.4%、呉市1.3%です。

江田島市では、主に牡蠣養殖業や解体業などに外国人技能実習生が従事しており、中国、ベトナム、インドネシア、バングラディシュなどの国々からこられています。

国別では、かつては中国が50%、フィリピンが25%を占めていましたが、現在は中国・ベトナム・フィリピンがそれぞれ約25%といったところです。